

平成28年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 紀之川中 学校
作成日	平成 29年 2月 28日

1 教育目標

あなたがいてよかったと言われる人になろう

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	・目標は適切である。 ・学校開放については回覧板などでPRされてはきてるが子どもがいなければなかなか学校へいきづらい。	・目標は適切である。 ・道徳教育の効果はなかなかあらわれてこないものであるので根気強く続けていかなければならないと思う。	・目標は適切である。 ・小学校との連携をもっと取っていくべきである。 ・基礎基本が身につくように家庭で学習する習慣の大切さを学校だよりなどで保護者にも伝えていくべきだ。
取組の状況に対する意見	・回覧板等で学校行事等を知らせてもらえるが自分の子どもがいなくてなかなか来校しづらい。 ・文化祭を地域に開放する取り組みはよいがもっとHP等を利用すれば効果があがるのではないか。	・体育大会、文化祭等を通して学校、学級の集団作りが進められているように感じる。 ・朝のあいさつ運動は生徒の様子を観察できてよいと思う。 ・校内がきれいになっているのは清掃が以前より行き届いているからだと思う。	・朝の読書の本はどんな本を生徒は読んでいるのか。 ・テスト期間中、テスト質問日をもうけて放課後等に生徒に勉強させる機会があるのはよい。
検証結果に対する意見	・文化祭では地域の方の作品発表があり生徒も熱心に見ていたが、展示場所が3階で少し年配の人にはしんどかったのでは。 ・若宮ガーデン等の取り組みはいいことなので続けてほしい。	・担任のローテーション道徳、道徳の講師など研究が進められている。 ・気持ちのよいあいさつが生徒に定着してきている。	・数学科の少人数授業の説明を聞いて非常に良いことだと感じた。先生が教える生徒が少なくなればそれだけ生徒に目が行き届きやすくなるので他の教科でも取り入れてほしい。
改善方法に向けての意見	・中学生はなかなか写真を使うのは難しいが、活動の様子等をHPにアップをしたら良い。 ・学校便り、学年便り等を地域の掲示板を使って、もっと学校の情報を発信すれば良い。	・こころの教育は大切なので道徳の授業の充実をさらにはかっていってほしい。 ・朝のあいさつ運動の参加は仕事の関係もあるので保護者、地域の人の参加は難しいと思う。	・子どもたちのためになるのであれば「学び合いの作り」等のアクティブラーニングをさらに進めていってほしい。 ・朝の読書をさらに進めていってほしい。

3 その他のご意見

・陸上競技場で走ったりする機会もそんなになくと思うので陸上競技大会も3年に1回開催してもよいのでは。
 ・掃除が行き届いて以前より学校内がきれいになってきている。それに比例して生徒たちも落ち着いて学習に取り組んでいると感じる。
 ・紀之川中学校が地域から信頼される学校になってきていると感じる。
 ・携帯電話を持って登下校している生徒、ノーヘルの生徒がいるが指導はどうなっているのか。